

題材名『ぬのから生まれた“てるてるぼうず”』

(3時間)

〔題材について〕 ※ PR文「晴れになってほしいときは、みんなでお家にぶらさげると・・・」

- 材料の良さを生かして、作りたいイメージを持ち、いろいろな表現を試すことができる。
- 試したことから自分なりの思いを持ち、自分の思いに合わせて工夫して表現することができる。

〔本時のめあて〕 ◎ 布の良さを生かして、しぼったり、縛ったり、貼ったり、巻きつけたりしながら晴れパワーたっぷりのてるてるぼうずを作ろう。(技能)

◎ 梅雨空を吹き飛ばすようにてるてるぼうずを願い(心)を込めて完成させよう。(意欲・態度)

本時の展開

学 習 活 動	教 師 の 支 援 (☆個別支援アイテム)
1 材料の確認と立体にする時の、紙のつめ方を知る。 2 めあてを知り、自分らしいてるてるぼうずを作る。 ・ 晴れパワー ・ 願いを込めながら一生懸命  ☆個別支援アイテム 3 出来上がった作品を吊るし、晴れパワーを評価する。(肯定的)	○ 白い上質紙をくしゃくしゃに固めて中に詰めることや、しぼったり、縛ったり、貼ったり、巻きつけたりできることを知らせ、イメージを膨らませる。 ○ てるてるぼうずの概念にとらわれず、オリジナルのてるてるぼうずを作ることを確認する。 ・ ぼうず頭でなくてもいい ・ 手や足があってもいい など ○ いろいろな布の色や柄・感触などの違いを感じながら、工夫する。 ☆ アイデアが浮かばない児童には、サンプルの写真やイラストを見せて、描いたり、巻いたり、何か持たせたりとイメージを持たせる。(友だちの様子も参考にさせる。) ○ 教室の中にロープを渡し、クリップでぶら下げながら、晴れパワーを評価し、鑑賞し合う。

〔成果と課題〕・・・ヒット題材にするためには？

- ・ 「ぬのから生まれた・・・」という題材名で、自分が好きなものを作らせた学級もあったが、思いやイメージが浅く、広すぎたため、“てるてるぼうず”を付け加えることで、思いや創作意欲が深まった。

写真

